
すとうりい

一八

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
すとうりい

【Nコード】
N8595A

【作者名】
一八

【あらすじ】
大好きなアレインを、エルロンド王国に抹殺されたジャック達は復讐を誓う。

すとうりい

ある村に男の子が産まれました。しかし、その男の子は髪の色が深い黒色でした。黒は悪魔のしるし、夫婦は男の子を『殺す』か森の中へ『捨ててくる』かで迷いました。何日も迷ったあげく、とうとう夫婦は

「自分達の息子を殺すことは出来ない、森の老人の所へ捨てて来よう。」夫婦は他の村人にバレないように男の子を大きな土色のマントにくるんで森に捨てて来ました。

… 10年後

エルロンド王国の大きな森の大きな家に1人の老人剣士と5人の黒い髪の男の子が住んでいました。5人の男の子達はみんな親に捨てられた子供達でしたが幸せに暮らしていました。男の子達にはそれぞれ名前がありました。

5人の中で最年長16才、名前は『ルーク』、恐ろしく整った顔立ちをしている心優しい青年。

5人の中でひとときわ背の高い14才の少年。
名前は『クード』、無表情。

5人の中でひとときわ背の低いダンゴ鼻で目の大きな14才の少年。
名前は『ポンチ』いつもにこやか。

5人の中で一番切れ長の眼と高い鼻を持っている10才の少年。名

前は『ジル』、本と剣が大好き。

そして、5人の中で一番深い黒の髪を持っている10才の少年。名前は『ジャック』、自分の身体よりかなり大きな土色のマントを腕を捲り、地面に引きずりながら着ている。

5人の男の子達はみんな老人剣士の『アレイン』のことが大好きで尊敬していた。5人の男の子達はアレインにいろんなことを教えてもらった。読み書き、森の中での食料の採り方、剣の使い方、森の外の世界のこと…。

この世界で、黒い髪を持って産まれて来た人は『悪魔』と呼ばれ、人々に嫌われる。だから、黒い髪の子供が産まれたら誰にも知られないうちに、『殺す』ことが当たり前になっていた。もし黒い髪の子供と暮らしているとバレようものなら、国の兵隊が一家全員を皆殺しに来る。

ジャックとジルは、いつものように大きな森の川で釣りをしている。森はいつもどおりで、平和そのものだった。しかしアレインが言うには、

「いつ、どこで、何が起きるかわからないから、剣はいつの時も持ち歩け。」

との事。

（こんなに平和なのになあ…。）ジャックは心の中で呟きながら、自分の身長分ぐらいある剣を背中に背負いながら釣りをしていた。ジャック達がいる川より少し山を登った所で、クードとポンチは木の実を拾っている。ポンチは後ろに人の気配を感じ、振り返った。ルークが腕を組みながら立っている。

「もうすぐ夕飯の時間だ。家に帰るぞ。」

ルークがそう言うと、ポンチが

「待ってました！…！」

と叫び、顔をまぶしいほどの笑顔でひからせ、家の方角へ体を向け

た。次の瞬間、ポンチは自分の眼を疑った。この場所からいつも見える、自分達の家の屋根が炎に包まれている。

「みんな！大変だ！！」

ポンチは言うと同時に家に向かい走り出していた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8595a/>

すとうりい

2010年11月5日07時32分発行